

年 組 名前:

来年のえと・蛇
お年玉袋を発売
マルアイ



紙製品・化成品製造のマルアイ(市川三郷町市川大門、村松道哉社長)は、来年のえと・蛇をデザインしたお年玉袋を発売した。写真。同社によると、新型コロナウイルスの影響緩和でお年玉袋の需要は高まっているとい、担当者は「お年玉を通じたコミュニケーションを楽しんでほしい」と話している。

同社によると、発売した「金箔お年玉」(330円)はどころを巻いた白い蛇で鏡餅を模した姿をデザイン。表面に金箔を施すなど「正月らしい華やかで縁起の良いイメージ」(同社)に仕上げた。「お

年玉 干支柄」(132円)は蛇がしめ縄や鏡餅といった正月飾りに巻き付く姿で、「かわいらしさとユニークさを意識した」デザインとなっている。同社が昨年販売したお年玉袋の数は、コロナ前の2019年比で98%まで回復したという。担当者は「コロナの5類移行を受け、年末年始を対面で過ごす機会が増えたことが要因ではないか」と分析している。

お年玉袋は、同社のオンラインショップで注文を受け付けている他、全国の文具店でも順次、販売を始める。
(山本就己)

(2024年9月13日付 山梨日日新聞7面)

問1

市川三郷町の紙製品・化成品製造会社が、来年のお年玉袋を発売しました。2種類のお年玉袋の

デザインを答えてください。

・金箔お年玉:

・お年玉干支柄:

問2

お年玉袋の販売数は、2019年と比較して98%まで回復しています。その理由を答えてください。

.....

問3

来年(2025年)のえとは、蛇です。今年(2024年)と再来年(2026年)のえとを答えてください。

・今年(2024年) ➡
・再来年(2026年) ➡